

施策体系	審議会審議結果等	今年度の主な実施内容
<p>1 予防・早期発見</p> <p>(1) 予防</p> <p>①たばこ対策の充実、②生活習慣等の改善</p> <p>③がん予防に関する知識の普及・啓発</p> <p>(2) 早期発見</p> <p>①がん検診受診率の向上</p> <p>②がん検診の精度管理等</p>	<p>○予防・早期発見部会</p> <p>12月19日、3月11日開催</p> <ul style="list-style-type: none"> 市町村及び集団検診機関の精度管理調査結果を検討するとともに、その結果を公表する。 千葉県乳がん検診実施のための技術的手引き案について了承した。 	<p>○県、ちば県民保健予防財団、千葉県がんセンターが共催するがん予防展・がん講演会について、9月1日、2日及び9月9日に銚子市で開催し、延べ5,288人の参加があった。</p> <p>○ピンクリボンキャンペーンとして、スポーツ施設での啓発、乳がん自己触診模型の薬局巡回、自己検診指導者養成研修会を実施した。今年度、薬局巡回は1企業増加し、3市薬剤師会2企業で実施となった。自己検診指導者養成研修会は70名の参加があった。</p> <p>○市町村等のがん検診担当者への研修を、胃内視鏡検診、がん検診の精度管理等をテーマに実施し、市町村、検診機関等から88名の参加があった。</p> <p>○がん検診推進員育成講習会を県内6地域で開催し204名の参加があった。</p>
<p>2 医療</p> <p>(1) がん医療</p> <p>①地域がん診療連携拠点病院等及び千葉県がん診療連携協力病院を中心とした医療提供体制の推進</p> <p>②地域医療連携体制の構築</p> <p>③がん医療を担う人材育成</p> <p>④がんゲノム医療提供体制づくりの検討</p> <p>⑤小児がん、AYA世代のがん</p> <p>高齢者のがん</p> <p>⑥希少がん、難治性がん</p> <p>⑦口腔ケアに関する医科歯科連携</p>	<p>○がん対策審議会</p> <p>11月26日開催</p> <ul style="list-style-type: none"> 都道府県がん診療連携拠点病院として千葉県がんセンターを、8医療圏に地域がん診療連携拠点病院として千葉大学医学部附属病院等12病院を、山武長生夷隅医療圏に地域がん診療病院として、さんむ医療センターを、指定更新として推薦する方針を了承した。 <p>○子ども・AYA世代部会</p> <p>3月26日開催予定</p> <ul style="list-style-type: none"> 小児がん・AYA世代のがんの診療支援体制の方向性について検討予定。 	<p>○左記の審議結果を踏まえ、国へ推薦を行った。3月7日に国の検討会があり、本県の推薦した全機関の指定が了承された。</p> <p>○地域がん診療連携拠点病院等の機能強化を支援するため、10病院に140,439千円の助成を行った。</p> <p>○千葉県がん診療連携協力病院については12月に千葉市立青葉病院が指定解除となり、17病院となった。3月12日に選定協議会を開催し、千葉西総合病院に肝がん、新松戸中央総合病院に肝がんと乳がんの追加指定をすることとした。</p> <p>○千葉県がん診療連携協議会（以下、診療連携協議会）では、協議会の他、教育・研修、院内がん登録、相談支援、緩和医療、地域連携クリティカルパス・臓器別腫瘍、PDCAサイクルの6つの専門部会及び12の部会で、計28回の会議を開催し、各分野の課題や取組を共有し、医療水準の向上に取り組んでいる。</p> <p>○診療連携協議会では、小児がん、AYA世代のがんについて連携を進めていくため、新たに千葉県こども病院長を委員とした。</p> <p>○診療連携協議会では、拠点病院と地域の歯科診療所の連携のための口腔ケアパスを作成した。今後、千葉県共用がん地域医療連携パスとして、県ホームページに掲載する。</p> <p>○がんゲノム医療中核拠点病院は全国11病院あり、県内では国立がん研究センター東病院が指定されている。がんゲノム医療連携病院は全国135病院あり、県内は千葉大学医学部附属病院、千葉県がんセンター、亀田総合病院の3病院が指定されている。</p>
<p>3 がんとの共生</p> <p>(1) 緩和ケアの推進</p> <p>①がんと診断された時からの緩和ケアの推進</p> <p>②地域緩和ケアの推進</p>	<p>○緩和ケア推進部会</p> <p>3月7日開催</p> <ul style="list-style-type: none"> 在宅緩和ケアに関する社会資源調査及び、拠点病院以外の緩和ケア提供体制調査（緩和医療専門部会と共同）により、緩和ケア提供体制の把握を行い、次年度以降の取組や調査の充実等について検討した。緩和ケア研修の受講状況の調査と受講の周知について提案があった。 今年度より開始した緩和ケアマニュアル活用支援事業について、経過を報告した。関係団体を活用した周知について、促進すべきとの意見があった。 	<p>○在宅療養支援診療所等の在宅緩和ケアに係る社会資源調査を実施し、「ちばがんナビ」を活用し情報発信。診療所は484施設を対象とし325施設から回答があった。看取り施設数は189施設であり、計画策定時の155施設より増加している。</p> <p>○在宅緩和ケアの理解と普及を図るため、千葉県がんセンターに委託し、医療・介護従事者を対象とした研修及び意見交換会を実施した。研修会85名、意見交換会41名の参加があった。</p> <p>○「介護スタッフのための緩和ケアマニュアル」を活用し、4つのサービス付高齢者向け住宅及び1つの特別養護老人ホームを対象とし、計11回の講師派遣を行った。</p> <p>○県及び診療連携協議会は、緩和ケア研修会の新指針について、来年度からの実施に向け準備を行った。</p> <p>○診療連携協議会では、拠点病院、協力病院以外の病院における緩和ケア提供体制について、県と共同で調査を行った。</p>

施策体系	審議会審議結果等	今年度の主な実施内容
<p>3 がんとの共生</p> <p>(2) 相談・情報提供・患者の生活支援</p> <p>①相談支援の充実</p> <p>②情報提供の充実</p> <p>③就労支援の充実</p>	<p>○がんとの共生推進部会 2月1日開催</p> <p>・アピアランスケア支援に関する情報提供について検討した。今後、千葉県がん診療連携協議会相談支援専門部会と共同で検討して行くこととした。</p> <p>・来年度実施予定の就労支援に関する実態調査(案)について、各委員から意見を募集した。</p>	<p>○千葉県がんセンターに委託し、地域統括相談支援センター事業を行った。</p> <p>・第4期となる千葉県がんピア・サポーター養成研修会を3年ぶりに実施し28名を養成した。ピア・サポーターズサロンちばを16病院で23回実施した。(2月末現在ピアサポーター176名参加、相談者168名参加)</p> <p>・「千葉県がん情報 ちばがんナビ」、「千葉県がんサポートブック」において、地域の療養情報について情報を発信した。</p> <p>○千葉労働局等と協働し、就労支援に関する情報を提供した。</p> <p>○診療連携協議会相談支援専門部会では、一都三県を対象とした地域相談支援フォーラムを千葉県において開催した。</p> <p>○千葉県がん患者団体連絡協議会では、重粒子線治療、光免疫療法をテーマに、がん患者大集合2018を開催した。</p> <p>○千葉県がん患者団体連絡協議会では、インフォームドコンセントをテーマに、がん診療病院と患者会との意見交換会を開催した。</p>
<p>(3) がん教育</p>		<p>○がん教育に係る外部講師派遣制度により、講師派遣を希望する学校と医療機関等のマッチングを行い、拠点病院、協力病院、患者団体、市町村から16の学校に講師が派遣された。</p> <p>○千葉県がん教育推進協議会(仮称)の設置準備を行った。</p> <p>○全ての拠点病院等が、がん教育に係る外部講師の派遣が可能な機関一覧に掲載された。</p>
<p>(4) 子ども・AYA世代に応じたがん対策</p>	<p>○子ども・AYA世代部会(再掲) 3月26日開催予定</p> <p>・小児がん・AYA世代のがんの診療支援体制の方向性について検討予定。</p>	<p>○小児がん経験者、家族を対象としたピア・サポートサロン(茶話会)として、「小児がん経験者とご家族の講演会・交流会」(3月11日)を開催した。</p>
<p>4 研究等</p> <p>(1) がん研究</p> <p>①基礎研究・橋渡し研究の推進</p> <p>②臨床研究(臨床・治験等)の促進</p> <p>③将来のがん予防のための疫学研究の推進</p>		<p>○千葉県がんセンター研究所による基礎研究・橋渡し研修、臨床研究、がん予防のための疫学研究が実施されている。</p> <p>○千葉県がんセンターは、臨床研究中核病院である千葉大学医学部附属病院、国立がん研究センター東病院、その他の県内拠点病院等との連携を充実し、臨床試験・治験体制の整備を図っている。</p>
<p>(2) がん登録</p> <p>①全国がん登録</p> <p>②院内がん登録</p>	<p>○がん登録部会 本年度未開催</p>	<p>○全国がん登録事業を千葉県がんセンターに委託し実施している。平成30年度の届出件数2月末現在64,753件。</p> <p>○全国がん登録の情報提供開始に向け準備を行い、31年1月からがん登録情報の利用申請について、受付を行っている。</p> <p>○千葉県がん登録事業報告書第22報(2014年確定値)を作成した。</p> <p>○診療連携協議会では、拠点病院及び協力病院の院内がん登録に関する取組や課題の共有を行い、院内がん登録の精度向上につなげている。</p>